

彼岸永代経の案内

庫裡は解体しましたが本堂は従来のままです、余間に法名軸を奉安しお勤めと法話は例年通りいたします。

左記の如く春期彼岸永代経厳修いたしますので、ご家族そろってお参りください。

ただし、厨房やお座敷が無く、お斎の準備はできず申し訳ありません。

とき

三月二十一日
午後二時より

二十二・二十三日

午前九時半より
午後一時半より
【お斎はありません】

法話

三重県東員町 浄願寺
丹羽 龍美 師

特別懇志のお願い



火打梁

十二月発行の寺報で五万円以上の特別懇志をご進納頂いた方の芳名を「火打梁」に住職が墨書し、新庫裡の梁に取りつける旨告知をいたしましたところ、多くのご門徒からご懇念が寄せられております。ただ、庫裡建設工事は着々と進んでおりますが、厳しい経済情勢のなか記帳総額が予定に至りどかず、付帯工事などは目途がまったくたつていません。庫裡完成後、予定している親鸞聖人七五〇回大遠忌法要や様々な寺行事を円滑に進めるために、庫裏回りの整備や什器などの充実も不可欠であり、今事業で最低限の整備ができないかと考えております。一〇〇年先を見据えた庫裡の新築、

門信徒皆様へより一層のご協力をお願い申し上げます。

なお、火打梁など庫裡構造材に寄進者名を書き入れることができるのは三月中旬までです、特別懇志のご協力頂ける方は取り急ぎその意志だけでもお寺にお伝え下さい。懇志は後日ご都合に合わせてご進納頂ければ結構です。



庫裏新築専用のブログを開始しています。
着工からは毎日工事の様子をレポートして更新していきます。
写真とコメントで庫裡建設の様子を様々な角度からご紹介していきます。
「正尊寺庫裡」と検索してもらえれば最初のページにヒットします。「お気に入り」に登録して折々にご訪問下さい。
パソコンのできない方は子供さんや孫さんに頼んで、見せてもらいましょう。



正尊寺庫裡 検索